

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 3月10日

事業所名 いまラボキッズ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切である	○				
	②	職員の配置数は適切である	○			児童5:職員1ではなく、 基本的に児童1:職員1 で対応しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	○			教室の入口から床に段 差がない作りになって います。	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	○			毎週朝礼にて全職員と 状況報告や確認を行っ ている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	○			保護者との懇談時に実 施しています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげている	○				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	○			虐待ハラスメントは特に 冊子や参考資料をもと に研修や会議で啓蒙を 徹底。	・今後は勉強会を重ねオリジナル の冊子にまとめ研修の実施
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	○			支援計画の一連の流れを しっかり共有し実施 できている。	支援記録の共有の工夫・徹底によ りさらに質を向上します。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			朝礼後に必ず活動プロ グラム(レッスン内容) を確認・共有している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	○			個々の子どもの進み具 合や状況に合わせて レッスンを実施してい る。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援している	○				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて放課後等デイサービス 計画を作成している	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	○			管理者が主体になり、 支援内容や役割分担 の確認や意見交換を活 発に行っている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	○			管理者が主体になり、 支援内容の共有を実施 している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			レッスン毎に必ず記録 をとり職員間で共有・確 認している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			支援計画の一環の流れに沿って実施を徹底しています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			個々の児童に合わせて複数組み合わせさせています。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				
	□	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○				
	□	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	□	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				
	□	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			代表や担当者が訪問したり、発達支援センターのご担当者に来所いただき助言・情報交換しています。	
	□	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○				
	□	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				
	□	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			児童に気になる事があれば、保護者とこまめに連絡・相談・報告し連携するようにしています。	
保	□	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				
	□	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			面談の際に丁寧に説明するよう心がけています。	
	□	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
□	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	<input type="checkbox"/>	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			情報端末を活用して迅速に対応できるよう徹底しています。	
	<input type="checkbox"/>	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	<input type="checkbox"/>	個人情報に十分注意している	○				
	<input type="checkbox"/>	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	<input type="checkbox"/>	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○				
非常時等の対応	<input type="checkbox"/>	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアルについて定期的に研修や訓練を実施しています。	
	<input type="checkbox"/>	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			非常時の対応について、定期的に研修を行い、周知・啓蒙に徹底しています。	
	<input type="checkbox"/>	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			職員間で連携をとり、虐待防止の意識を共有しています。	
	<input type="checkbox"/>	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			やむを得ない場合の身体拘束については、ホウデイに経験が長い職員を中心に啓蒙・周知に努めています。	身体拘束をしない支援について、職員間での意見交換をさらに行う。
	<input type="checkbox"/>	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
<input type="checkbox"/>	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○					

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。